



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社 ソトー
コード番号 3571 URL <https://www.sotoh.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上田 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小澤 活人

TEL 0586-45-1121

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,479	30.3	356		136		269	
2022年3月期第3四半期	5,738		249		128		137	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 66百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 352百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.18	
2022年3月期第3四半期	10.78	

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値は当該会計基準等を適用した後の金額となっていることから、増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,360	11,057	77.0
2022年3月期	14,713	11,283	76.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,057百万円 2022年3月期 11,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.00		12.00	24.00
2023年3月期		11.00			
2023年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	30.5	570		330		900		70.72

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想につきましては、本日(2023年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,933,757 株	2022年3月期	13,933,757 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,207,351 株	2022年3月期	1,207,165 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	12,726,486 株	2022年3月期3Q	12,726,672 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和され、経済活動が正常化に向かう動きが見受けられましたが、ロシアによるウクライナ侵攻によって資源やエネルギー価格の高騰に拍車がかかったことや米国との金利差により円安が急速に進んだこと等による物価上昇に伴い、消費の落ち込みが懸念されており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

繊維産業におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されたこと等により、百貨店等での衣料販売が回復し明るい兆しが見えておりますが、エネルギーや原材料の高騰に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響等により製品や原材料の遅延が懸念されるなど、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、優れた感性と技術で新しい「価値」を創造し、市場領域の拡大とグローバル展開を図り、安定的・持続的成長の実現を目指しております。また、「地球は着替えることができないから」を当社の環境理念として環境負荷低減活動に取り組むとともに、地域社会やステークホルダーとの共存共栄を図るなど、SDGs活動を積極的に進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高74億7千9百万円（前年同期比30.3%増）、営業損失3億5千6百万円（前年同期は営業損失2億4千9百万円）、経常損失1億3千6百万円（前年同期は経常損失1億2千8百万円）、投資有価証券評価損1億円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失2億6千9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千7百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(染色加工事業)

昨年度の秋冬物の販売時期において新型コロナウイルス感染症が収束に向かったことや気温が比較的低かったことにより、コートを中心に秋冬物の販売が上向いて織物の受注が好調であったことから、織物が25億4百万円（前年同期比31.2%増）、ニットが20億8千8百万円（前年同期比11.6%増）となり、売上高45億9千3百万円（前年同期比21.5%増）となりました。営業損益につきましては、加工料金の是正をお願いしておりますが、燃料及び原材料の高騰の影響が想定以上に大きいことや工場移設に伴う営業費用が増加したこと、また第2四半期連結累計期間におきまして資産除去債務についての会計上の見積りの変更を行ったこと等により、営業損失5億9千4百万円（前年同期は営業損失4億1千万円）となりました。

(テキスタイル事業)

秋冬物が比較的順調に受注出来たことに加えて、新たに取り入れた合繊織物の販売がプラスとなったことや輸出が好調なこと等により、売上高26億3千8百万円（前年同期比52.7%増）、営業利益8千9百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

(不動産事業)

前第1四半期連結会計期間の途中で賃貸契約が終了した群馬県伊勢崎市の土地・店舗について、新たな契約先により10月から賃貸がスタートしたことから、売上高2億4千7百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益につきましては、上期における売上高の減少に加えて同物件の維持管理費及び新たな契約に伴う諸経費が発生したことにより1億4千8百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ3億5千2百万円減少し、143億6千万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が4億7千1百万円増加、建物及び構築物が3億9千2百万円増加、機械装置及び運搬具が3億2千4百万円増加しましたが、現金及び預金が13億9千8百万円減少したことであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ1億2千6百万円減少し、33億3百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億2千5百万円増加しましたが、工場移転費用引当金が3億7千3百万円減少したことであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ2億2千6百万円減少し、110億5千7百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が3億2千3百万円増加しましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失2億6千9百万円を計上したこと及び配当金の支払2億9千2百万円により利益剰余金が5億6千2百万円減少したことであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、原油価格高騰や円安に伴う原材料、燃料費の値上り等の継続を想定し、第4四半期に当社工場移設後の土地の有効活用に向けて、建物解体費用及び土壌改良費用等を特別損失として見込むことにより、売上高98億円（前連結会計年度は売上高75億7百万円）、営業損失5億7千万円（前連結会計年度は営業損失5億8千2百万円）、経常損失3億3千万円（前連結会計年度は経常損失4億2千8百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失9億円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失11億2千8百万円）を予想しております。

詳細につきましては、本日（2023年2月8日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,338,573	939,918
受取手形及び売掛金	1,566,418	2,038,411
有価証券	407,188	200,040
完成品	302,734	408,540
仕掛品	446,021	482,127
原材料及び貯蔵品	309,660	314,264
その他	102,000	171,353
貸倒引当金	△5,480	△7,160
流動資産合計	5,467,117	4,547,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,176,345	1,569,297
機械装置及び運搬具(純額)	748,791	1,073,659
土地	1,928,153	1,928,153
建設仮勘定	255,517	156,962
その他(純額)	37,946	67,308
有形固定資産合計	4,146,754	4,795,380
無形固定資産		
その他	31,953	35,845
無形固定資産合計	31,953	35,845
投資その他の資産		
投資有価証券	4,162,069	4,100,762
退職給付に係る資産	520,592	529,739
繰延税金資産	160,034	139,844
その他	239,774	225,250
貸倒引当金	△15,090	△13,842
投資その他の資産合計	5,067,380	4,981,753
固定資産合計	9,246,088	9,812,980
資産合計	14,713,205	14,360,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622,186	747,939
1年内返済予定の長期借入金	—	23,500
リース債務	8,251	8,251
未払法人税等	29,272	33,953
未払費用	201,093	149,288
工場移転費用引当金	550,373	177,292
その他	645,575	630,655
流動負債合計	2,056,753	1,770,880
固定負債		
長期借入金	130,000	136,500
リース債務	13,752	7,563
退職給付に係る負債	715,310	734,287
長期預り保証金	187,589	187,589
繰延税金負債	263,229	357,767
資産除去債務	63,300	108,640
固定負債合計	1,373,181	1,532,348
負債合計	3,429,935	3,303,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,341,568	1,341,568
利益剰余金	7,809,177	7,246,969
自己株式	△1,362,395	△1,362,547
株主資本合計	10,912,551	10,350,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313,331	636,745
退職給付に係る調整累計額	57,387	70,310
その他の包括利益累計額合計	370,719	707,055
純資産合計	11,283,270	11,057,246
負債純資産合計	14,713,205	14,360,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	5,738,771	7,479,706
売上原価	5,318,864	7,077,466
売上総利益	419,906	402,239
販売費及び一般管理費	669,536	758,551
営業損失(△)	△249,630	△356,312
営業外収益		
受取利息	24,963	14,015
受取配当金	73,279	78,288
為替差益	568	106,707
投資事業組合運用益	5,787	5,839
その他	18,451	17,298
営業外収益合計	123,050	222,149
営業外費用		
支払利息	1,317	1,511
手形売却損	371	881
その他	123	62
営業外費用合計	1,812	2,456
経常損失(△)	△128,392	△136,619
特別利益		
固定資産売却益	3,193	6,517
投資有価証券売却益	38,582	11,414
特別利益合計	41,776	17,931
特別損失		
固定資産処分損	7,017	2,669
投資有価証券評価損	—	100,321
投資有価証券売却損	—	6,902
工場移転費用	30,305	—
減損損失	1,579	—
その他	—	2,820
特別損失合計	38,902	112,713
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,519	△231,401
法人税等	11,670	38,095
四半期純損失(△)	△137,189	△269,497
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,189	△269,497

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△137,189	△269,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207,362	323,413
退職給付に係る調整額	△8,268	12,922
その他の包括利益合計	△215,630	336,336
四半期包括利益	△352,820	66,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△352,820	66,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、当社グループの工場移転等に伴い、新たな情報の入手により、土壌汚染調査費用等に関して会計上の見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額75,100千円を変更前の資産除去債務残高に加算し、期末日後1年以内に履行が見込まれる額は流動負債へ、それ以外の額は固定負債へ計上しております。

なお、当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ69,150千円増加しております。

(追加情報)

(雇用調整助成金)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業を実施したことにより支給した休業手当について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けた助成金の既受給額及び受給見込額を前第3四半期連結累計期間において191,773千円、当第3四半期連結累計期間において46,825千円、販売費及び一般管理費並びに当期製造費用から控除しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,775,024	1,727,610	20,543	5,523,178	—	5,523,178
その他の収益	5,818	—	209,775	215,593	—	215,593
外部顧客への売上高	3,780,842	1,727,610	230,318	5,738,771	—	5,738,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	123,659	1,984	13,644	139,288	△139,288	—
計	3,904,502	1,729,594	243,962	5,878,059	△139,288	5,738,771
セグメント利益又は損失(△)	△410,117	3,560	156,927	△249,630	—	△249,630

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,588,866	2,638,630	21,871	7,249,368	—	7,249,368
その他の収益	4,584	—	225,753	230,337	—	230,337
外部顧客への売上高	4,593,450	2,638,630	247,624	7,479,706	—	7,479,706
セグメント間の内部売上高又は振替高	169,944	1,724	12,851	184,519	△184,519	—
計	4,763,395	2,640,354	260,475	7,664,225	△184,519	7,479,706
セグメント利益又は損失(△)	△594,320	89,463	148,543	△356,312	—	△356,312

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません